

事業系廃棄物減量化計画書

大規模建築物		年度区分	令和7年度実績報告 (2025年4月～2026年3月)					令和8年度						
管理番号	名称		廃棄物発生量 t/年 (A)	処理区分		再利用率 (B/A)	廃棄物発生量 t/年 (A)	処理区分		再利用率 (B/A)				
所在地				廃棄	再利用			廃棄	再利用					
所有者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	建築物の規模 延べ面積	占有者氏名	職員の年間数	建築物の用途	廃棄物管理責任者の氏名	役職名	氏名	連絡先	処分量	処分量	再利用率 (B)	処分量	処分量	再利用率 (B/A)
999	〇〇広阪ビル	〇〇不動産(株) 〇〇商事(株)	10	店舗 6箇所 600㎡	〇〇不動産(株)	管理	金沢 〇〇	〇〇〇-××××-△△△△	2.0000	〇〇商会	100.0%	2.0000	〇〇商会	100.0%
			11	住居 世帯					2.0000	〇〇商会	100.0%	2.0000	〇〇商会	100.0%
			12	その他 箇所					6.0000	〇〇商会	100.0%	6.0000	〇〇商会	100.0%
			13	共用部分					6.0000	〇〇商会	100.0%	6.0000	〇〇商会	100.0%
			14						2.0000	〇〇商会	0.0%			0.0%
			15						3.0000	〇〇商会	0.0%			0.0%
			16						4.0000	〇〇商会	0.0%			0.0%
			17						5.0000	△△商店	0.0%			0.0%
			18						10.0000	△△商店	40.0%	4.0000	△△商店	40.0%
			19						10.2500	〇〇サービス	24.9%	2.0000	〇〇サービス	100.0%
			20						7.7000	〇〇サービス	100.0%	2.0000	〇〇サービス	100.0%
			21						2.5500	〇〇サービス	100.0%	3.0000	〇〇サービス	100.0%
			22						0.0000	入力なし	0.0000			入力なし
			23						0.0000	入力なし				入力なし
			24						0.0000	入力なし				入力なし
			25						0.0000	入力なし				入力なし
			26						0.0000	入力なし				入力なし
			27						0.0000	入力なし				入力なし
			28						0.0000	入力なし				入力なし
			29						0.0000	入力なし				入力なし
			30						27.7000		27.7000			100%

自社内で処理する場合は自己処理と記入。廃棄物処理業者に委託する場合は、当該廃棄物を持ち込む処理施設の名称を記入

管理番号及び名称は、案内文書をご確認ください。

「処分量」、「再利用率」には数値しか入力できません。重量の単位を必ず「トン」に換算して入力してください。

1～6の紙類について、混合して排出している場合は、品目ごとに案分しそれぞれの排出量を記入
例
新聞とダンボールの混合物を5トン出した場合は、「1 新聞」に「2トン」、「3 ダンボール」に「3トン」と記入

所有者等が一括で管理を行っているテナント名を記入

6. その他の紙: 雑紙(空き箱や封筒など)、紙パック等
7. 生ごみ: 食堂から出る残飯やオフィスから出る茶殻等
11. その他プラスチック: ペットボトル以外のプラスチック製品(クリアファイル、プラスチックバケツ、スポンジ等)

「再利用率」はパーセント表示で小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを記載してください。

・機械で自動集計しますので、セルや行の追加・削除は行わないでください。
・文字や数値は必ずセルに入力してください。
・テキストボックスやコメントで記載があっても集計されません。

廃棄物の種類は、上表の種類番号を記入

今年度廃棄物処理業者調査	前年度実績自己評価	現在の再利用の具体的方法	今後再利用可能な品目及びその方法								
<table border="1"> <tr> <th>廃棄物の種類</th> <th>収集運搬業者</th> </tr> <tr> <td>1～7</td> <td>〇〇商会</td> </tr> <tr> <td>8, 9</td> <td>△△商店</td> </tr> <tr> <td>10, 11</td> <td>□□サービス</td> </tr> </table>	廃棄物の種類	収集運搬業者	1～7	〇〇商会	8, 9	△△商店	10, 11	□□サービス	<p>新聞、段ボールについては、分別と再利用の意識が根付いているため、100%資源化できた。OA用紙とその他の紙については、テナント社員への教育不足により、資源化できる紙もゴミとして処分してしまった。</p>	<p>①各事業所に古紙類の分別回収箱を置き、清掃社員が毎日回収している。②ダンボールについては一箇所に集約し、資源回収業者に週2回の頻度で回収依頼している。</p>	<p>雑紙については、現状ごみとして処分しているため、別途回収箱を設置する方向で各テナントと協議中である。</p>
廃棄物の種類	収集運搬業者										
1～7	〇〇商会										
8, 9	△△商店										
10, 11	□□サービス										